

史料群番号 66

史料群名	くろかわりしち 黒川利七家文書	旧所蔵者	黒川利七
探訪時住所	京都府与謝郡宮津町		
現在の住所	京都府宮津市		
探訪年月	不明		
史料の年代	明治5（1872）年～大正10（1921）年	史料の総点数	192点
年代の内訳	近代 148点/不明 44点	筆写稿本	なし
既刊行目録	なし		

収蔵にいたる経緯

探訪に関する書類はなく、詳細は不明である。

史料群の概要

宮津は宮津湾の最奥に位置する。丹後国与謝（よさ）郡宮津町は近世の宮津藩の城下町として栄え、北前船も寄港していた。昭和29年に宮津市の一部となる。

本史料群のほとんど全てが、鰯、干鱈、棒鱈、白子、数の子、昆布など多様な水産物の取引の際の仕切りである。明治7年「仕立米回漕状」などが数点見られる。明治期の海産物流通を知るための、かなりまとまった史料といえることができる。

